

進路だより

～Keep Going～

2023年6月 進路通信6号

～少しずつなら頑張れる～

階段を一段一段上るように少しずつ
がんばってみよう。

受験勉強のしかた

高校入試は中学3年間で学習した内容が範囲の試験ですから、1年2年の学習範囲も出題されます。

多くの中学生は1年2年の分野をかなり忘れています。これまで成績が良かった生徒も、以前に習ったことは忘れているものです。そこで、どのように勉強すればよいのでしょうか？

1 計画を立てて勉強することが大切

ただ、計画は柔軟性を持たせ、完璧にこなそうと思わないでください。計画通りに進まない事がストレスになっては意味がないからです。

<6月5日>

- ☐ 数学プリント1と2
- ☐ 英語ノート25～27ページ
- ☐ 社会 昨日の復習とプリント5と6

2 「やることリスト」の勉強法

自分の勉強する内容(宿題や復習内容)は分かっているので、その日や、この1週間でやることをフォーサイト手帳に書き出しましょう。このように書き出し、やったものは線を引いて消します。全部やってリストがなくなると、達成感もあるのでオススメです。長期休みに自宅で頑張るときは、勉強方法(時間帯、1日の学習量や内容)を少し工夫した方がいいです。

3 すきま時間を大切に！

日々の授業もあり、なかなか1,2年の内容まで手が回らない生徒も多いことでしょう。そこで、すきま時間を使ってみては？登校してすぐ、休み時間などちょっとした時間を利用して勉強してみましょう。「1問1答」などを利用し、1,2年の復習をすることができます。周囲の目を気にしては、成績は上がりません。自分のためにも今すぐ勉強を始めましょう。

あなたへのアドバイス

<40点～70点くらい>

単元テスト、定期テストの結果が40～70点くらいの人は、応用問題が苦手なのでしょう。

宿題やプリントも、基礎を徹底して繰り返し、実力の「底上げ」をしたいところです。忘れていることも多いでしょうし、応用問題や入試問題は後回しで構いませんから、基本問題や標準問題だけをマスターするつもりで徹底的に勉強します。

<85点以上>

定期テストで85点以上を取れていたなら、応用問題もどんどんチャレンジすべきです。

入試問題に少しずつ触れるよい機会です。もちろん、基礎もおろそかにせずしっかりと復習しておきましょう。

<復習のコツ>

成績に関係ない、復習のコツを紹介します。それは、前日あるいは当日の学習した内容の復習時間を必ずとるということです。何かを暗記したり、問題の解き方を覚えるときは、なるべく間をあげずに復習すると効率的に覚えらるからです。

昨日の間違った問題や、覚えられなかったことを次の日に復習してから今日の勉強を始めるようにしましょう。



勉強8か条

まずは成功した人の勉強法を真似ること
いつどんな勉強をするか決めること
勉強を始めるルールを作ること
徐々に勉強時間を増やすこと
一度に暗記せずに繰り返し覚えていくこと
学習内容をアウトプットすること
模試で自分の位置を確認すること
なぜ勉強するのか定期的に振り返ること
勉強方法が正しければ
おのずと結果は出る

